



米本 隆記 議員

無駄な事業は何か

町長

事業評価を参考に見極める



役割の終わった事業は

【米本】 監査報告の指摘事項にもあるように、目的を終えた事業などの廃止は必要だ。町長は選挙の中で行政の事業に無駄があると思った。当時は町の行政運営を外から見ているの発言だとは思いますが、何がそうだったのか。また、初めての予算編成を迎えるにあたり、実際に町のかじ取りをする中で感じられるものは何か。無駄を省き新たなものを作り出す。それが

行政の仕事だと思うが、町長の考えは。【町長】 予算編成の段階で、担当課と意見交換や、事務事業の評価を参考にしながら見極めていく。総花的な予算編成ではせっかくの町の特色が押し出されない。ただ、特色を出すあまり、どこかに偏りすぎると町民に理解が得られない。そのバランスをとっていく。

農業・水産業のこれからは

町長

後継者確保に取り組む

【米本】 基幹産業である農業や県内有数の水揚げを誇る水産業の将来の後継者問題は重要な課題と考える。しかし、会社勤めを

担い手確保に取り組む。また、漁業は5年・10年先を見越し、新規参入者の確保に努める。

今後も、関係機関と連携しながら持続可能な漁業経営がはかられるよう取り組みを進める。

終わっても、農業をしない・したくないと思う農家の跡取りが増加し、新たに漁業に取り組む人も多くないと聞いている。今の現状を維持、発展させるためには相応の施策が必要と思うが。

【町長】 後継者問題は全国的なものであり、本町も例外ではない。しかしながら、農業

は基幹産業であり、農地は地域の貴重な資源である。関係機関と連携し、



もうかる農業を広めては